

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	C言語演習 I	坂本 知美	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

プログラミング言語の1つであるC言語の基礎について学ぶことを目的とする。
また、C言語を使って基本的なアルゴリズムを実装できるようにする。

【講義概要】

C言語文法 I で学んだ内容をもとに、実際にプログラムを作成して理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	C言語プログラムの概要、変数
2	演算処理、分岐処理1 (if)
3	分岐処理2 (else ifなど)、繰り返し (for)
4	合計平均、最大値最小値、値の入れ替え
5	変数を使った繰り返し処理
6	前半のまとめ
7	2重ループ、無限ループ
8	whileを使った繰り返し処理
9	配列データを使った処理 (合計平均、最大値最小値、カウント)
10	配列データを使った処理 (度数集計、ランク付け)
11	配列データを使った処理 (線形探索法、二分探索法)
12	配列データを使った処理 (整列処理)
13	後半のまとめ
14	総合演習
15	総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	85%			15%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	C言語演習Ⅱ		坂本 知美	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

C言語演習Ⅰに引き続き、C言語の基礎について学ぶことを目的とする。
また、C言語を使って基本的なアルゴリズムを実装できるようにする。

【講義概要】

C言語文法Ⅱで学んだ内容をもとに、実際にプログラムを作成して理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	C言語Ⅰの復習、配列、文字データ
2	多分岐、EOF判定、forの応用的な使い方
3	ソートと計算量
4	高速なソート処理
5	データ構造 ハッシュ検索、リスト、キュー、スタック
6	文字列入出力、文字列入力
7	2次元配列
8	文字列の配列
9	関数の書き方①
10	関数の書き方②
11	ポインタ
12	ポインタと配列の関係、データのスコープ
13	まとめ
14	総合演習
15	総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	85%			15%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	C言語文法 I	坂本 知美	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

プログラミング言語の1つであるC言語の基礎について学ぶことを目的とする。
また、C言語を使って基本的なアルゴリズムを実装できるようにする。

【講義概要】

C言語演習 I でプログラムを作成できるように、本講義では文法の説明を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	C言語プログラムの概要、変数
2	演算処理、分岐処理1 (if)
3	分岐処理2 (else ifなど)、繰り返し (for)
4	合計平均、最大値最小値、値の入れ替え
5	変数を使った繰り返し処理
6	前半のまとめ、中間試験対策
7	中間試験
8	2重ループ、無限ループ
9	whileを使った繰り返し処理
10	配列データを使った処理 (合計平均、最大値最小値、カウント)
11	配列データを使った処理 (度数集計、ランク付け)
12	配列データを使った処理 (線形探索法、二分探索法)
13	配列データを使った処理 (整列処理)
14	後半のまとめ、期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%		10%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	C言語文法Ⅱ	坂本 知美	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

C言語文法Ⅰに引き続き、C言語の基礎について学ぶことを目的とする。
また、C言語を使って基本的なアルゴリズムを実装できるようにする。

【講義概要】

C言語演習Ⅱでプログラムを作成できるように、本講義では文法の説明を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	C言語Ⅰの復習、配列、文字データ
2	多分岐、EOF判定、forの応用的な使い方
3	ソートと計算量
4	高速なソート処理
5	データ構造 ハッシュ検索、リスト、キュー、スタック
6	文字列入出力、文字列入力
7	中間試験
8	2次元配列
9	文字列の配列
10	関数の書き方①
11	関数の書き方②
12	ポインタ
13	ポインタと配列の関係、データのスコープ
14	期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		10%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズム I	坂本 知美	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

フローチャートの表現方法及び基本情報技術者試験で使用する擬似言語の表記法を学ぶ。
また、基本的なアルゴリズムやデータ構造についても学習する。

【講義概要】

各種問題に対して処理要素を解説し、手順を考えさせ実際にフローチャートや擬似言語を書かせる。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムとは、流れ図とは、基本制御構造
2	変数と定数、変数をつかった分岐
3	カウンタ、分岐を使った繰り返し
4	擬似言語（順次、分岐）
5	擬似言語（繰り返し）、関数とは
6	集計、中間試験対策
7	中間試験
8	二重ループ
9	複合条件、一次元配列
10	二次元配列
11	探索処理（線形探索法、二分探索法）
12	整列処理①（基本交換法）
13	整列処理②（基本選択法、基本挿入法）
14	まとめ、期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズムⅡ	坂本 知美	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

フローチャートの表現方法及び基本情報技術者試験で使用する擬似言語の表記法を学ぶ。
また、基本的なアルゴリズムやデータ構造についても学習する。

【講義概要】

各種問題に対して処理要素を解説し、手順を考えさせ実際にフローチャートや擬似言語を書かせる。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムとは、流れ図とは、基本制御構造
2	変数と定数、変数をつかった分岐
3	カウンタ、分岐を使った繰り返し
4	擬似言語（順次、分岐）
5	擬似言語（繰り返し）、関数とは
6	集計、中間試験対策
7	中間試験
8	二重ループ
9	複合条件、一次元配列
10	二次元配列
11	探索処理（線形探索法、二分探索法）
12	整列処理①（基本交換法）
13	整列処理②（基本選択法、基本挿入法）
14	まとめ、期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズムⅢ		坂本 知美	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

アルゴリズムとデータ構造の基礎理論習得を目指す。
また、基本情報技術者試験で用いられる擬似言語の読み方を習得する。

【講義概要】

授業プリントを配布しながら講義を進める。
演習問題を実際に解きながら理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	擬似言語の読み方1
2	擬似言語の読み方2
3	基数変換
4	論理演算（ビット演算）
5	加算器
6	再帰処理
7	中間試験
8	リスト構造
9	木構造、ヒープ
10	スタック、キュー、逆ポーランド
11	文字列処理1
12	文字列処理2
13	様々なソート処理
14	マージソート
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

基本情報技術者 科目B対策(インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	セキュリティ I		鹿子木 範昭	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティの基礎知識の習得とその活用

【講義概要】

セキュリティインシデントの予防と対応のための基礎知識・技術をテキストを中心に学ぶ。 資格試験対策として小テストを実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報通信白書による情報セキュリティインシデントの事例研究
2	情報セキュリティの概念
3	情報資産に対する脅威
4	情報システムに対するセキュリティ上の脅威
5	情報システムの脆弱性
6	前半のまとめ
7	中間試験
8	暗号化システムの基礎
9	認証技術
10	デジタル署名
11	ネットワークセキュリティ技術 その1
12	ネットワークセキュリティ技術 その2
13	情報セキュリティ関連法規
14	後半のまとめ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%	20%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	セキュリティⅡ	久良知 眞紀子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティマネジメント試験の午前・午後問題分野について、要点確認と問題演習を行う。

【講義概要】

情報セキュマネ試験 要点&問題集（インフォテックサーブ）

回	授業計画及び学習の内容
1	情報セキュリティ全般：単元01 情報セキュリティ
2	報セキュリティ全般：単元02 マルウェア、単元03 パスワードの不正入手/不正利用、
3	情報セキュリティ全般：単元04 Webサイト利用者への攻撃、単元05 サービスの妨害/悪用、
4	情報セキュリティ全般：単元06 人的脅威、単元07 物理的脅威/その他の脅威、
5	情報セキュリティ全般：単元08 暗号化技術、単元09 認証技術
6	情報セキュリティ全般：単元10 デジタル署名
7	中間試験
8	情報セキュリティ対策：単元11 マルウェア対策、単元12 不正アクセス対策
9	情報セキュリティ対策：単元13ネットワークセキュリティ、単元14情報漏えい対策
10	情報セキュリティ対策：単元15その他のセキュリティ対策
11	情報セキュリティ管理：単元16 情報セキュリティマネジメント、単元17 ISMS
12	情報セキュリティ管理：単元18 リスクマネジメント、単元19 情報セキュリティインシデント管理
13	情報セキュリティ関連法規：単元20 情報セキュリティ関連法規
14	総合問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

① 銀行でシステム開発 (2年) ②ソフトウェア開発会社でシステム開発 (2年) ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング (20年)

【教科書・参考文献】

情報セキュマネ試験 要点&問題集（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ソフトウェア	高嶋 知由	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ソフトウェアの基礎について学習する。

【講義概要】

テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。
毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報処理システムの処理形態
2	様々なシステム
3	高信頼化システムの構成
4	処理能力の評価、性能測定の技法
5	信頼性の評価
6	ヒューマンインタフェース
7	中間試験
8	マルチメディア
9	基本ソフトウェア ジョブ管理
10	基本ソフトウェア タスク管理
11	基本ソフトウェア 記憶管理
12	プログラム言語と言語プロセッサ
13	ファイル、ディレクトリ、バックアップ
14	まとめ問題演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%	30%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問題

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ハードウェア I	井元 和彦	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータがどのような部品で構成され、それらがどのように動き、どのように連携して、命令を実行していくか理解することを目指す。

【講義概要】

コンピュータの動作の理解に必要な基礎理論として、2進数とその他の基数表記及び基数変換、また論理演算を扱う。また、それらの技術を利用して、コンピュータがどのように情報を処理しているか紹介する。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ2進数が必要か／基数とは／2進数から10進数への変換
2	10進数から2進数への変換／2進数と8進数・16進数間の変換
3	情報量／補助単位／ビットとバイト／固定小数点数その1
4	固定小数点数その2／シフト演算
5	浮動小数点数、誤差
6	記憶素子（ROMとRAM）／中央処理装置
7	中間試験
8	アドレス指定方式、BCD
9	論理演算（AND、OR、NOT、XOR、NAND、NOR他）
10	論理回路、加算器、論理法則、加法標準形
11	フリップフロップ、ビット演算
12	キャッシュメモリ、プロセッサの高速化
13	補助記憶装置
14	総まとめ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	20%				100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ハードウェアⅡ	井元 和彦	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータがどのような部品で構成され、それらがどのように動き、どのように連携して、命令を実行していくか理解することを目指す。

【講義概要】

コンピュータの動作の理解に必要な基礎理論として、2進数とその他の基数表記及び基数変換、また論理演算を扱う。また、それらの技術を利用して、コンピュータがどのように情報を処理しているか紹介する。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ2進数が必要か／基数とは／2進数から10進数への変換
2	10進数から2進数への変換／2進数と8進数・16進数間の変換
3	情報量／補助単位／ビットとバイト／固定小数点数その1
4	固定小数点数その2／シフト演算
5	浮動小数点数、誤差
6	記憶素子（ROMとRAM）／中央処理装置
7	中間試験
8	アドレス指定方式、BCD
9	論理演算（AND、OR、NOT、XOR、NAND、NOR他）
10	論理回路、加算器、論理法則、加法標準形
11	フリップフロップ、ビット演算
12	キャッシュメモリ、プロセッサの高速化
13	補助記憶装置
14	総まとめ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	20%				100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	データベース	高嶋 知由	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

データベースとは、DBMSについて
関係データベースの設計、正規化、DBの操作、SQLの習得

【講義概要】

テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。
毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	データベースとは 関係データベースの特徴
2	DBMS 排他制御、障害回復処理
3	表の定義 正規化
4	SQL CREATE文
5	SQL SELECT文 * DISTINCT
6	SQL SELECT文 WHERE 条件指定
7	中間試験
8	SQL SELECT文 集合関数 GROUP BY ORDER BY
9	SQL SELECT文 表の結合
10	SQL SELECT文 副問合せ
11	SQL SELECT文 相関問合せ
12	SQL その他のSQL文 JOIN GRANT
13	SQL 総合問題演習
14	DB 基本情報午後問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	20%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ネットワーク I		石川 章	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・通信回線の基礎技術からイーサネット技術までを習得する。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識を習得する。

【講義概要】

- ・教科書をベースに各項目について説明する。
- ・演習問題による知識の確認を行う。

回 授業計画及び学習の内容

1	ネットワークの歴史と基礎知識
2	ネットワークの種類1：ネットワークの分類、電話網
3	ネットワークの種類2：パケット交換網、携帯電話網
4	ブロードバンド：ADSL、FTTH、CATV
5	データ伝送の実際：文字データ形式、伝送方式、誤り制御
6	前半の補足と復習
7	中間試験
8	通信回線の計算：伝送時間及び回線速度の算出
9	アナログデジタル変換：変換方法と特性、データ量の算出
10	マルチメディア：静止画、動画、音声の各ファイル形式、圧縮技術
11	イーサネット1：イーサネットによるデータ伝送方法
12	イーサネット2：イーサネット用通信機器
13	通信プロトコルとOSI参照モデル
14	後半の補足と復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		30%			100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド、演習問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ネットワークⅡ		石川 章	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・インターネット及びネットワークセキュリティ技術の習得。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識の習得。

【講義概要】

- ・教科書をベースに各項目について説明する。
- ・演習問題による知識の確認を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	IPアドレス
2	TCP/IP (1)
3	TCP/IP (2)
4	サーバ (1)
5	サーバ (2)
6	通信回線の計算・認証
7	前半の復習と補足
8	中間試験
9	インターネット関連技術
10	暗号
11	セキュリティ技術・ファイアウォール
12	マルウェア・サイバー攻撃
13	無線LAN・IPv6
14	後半の復習と補足
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%		30%			100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド、演習問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	ホームページ	黒澤 純一	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブページを構成する主な要素であるHTML/CSSの基本的な記述方法と役割について理解し、演習を通じて、制作技術の習得を目指す。

【講義概要】

前編は、HTML/CSSの基本的な知識と記述方法について学習し、
後編は、学習した内容を基に簡単な課題制作に取り組むことで理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	基礎① HTML/CSS概要説明、基本的な要素の記述体験
2	基礎② 制作に必要なフォルダ構成、マークアップルールの解説と記述演習
3	基礎③ HTMLの基本的な書式と名称の解説、演習（テキスト表示に関するタグなど）
4	基礎④ CSSの基本的な書式と名称の解説、演習（要素に対する見た目の装飾、配置変更など）
5	基礎⑤ HTMLでのリンクと画像の挿入、CSSでの装飾・配置
6	基礎⑥ レイアウトについて、ボックスモデルとフレックスボックスの解説と演習1
7	基礎⑦ レイアウトについて、ボックスモデルとフレックスボックスの解説と演習2
8	基礎⑧ レイアウトについて、レスポンシブデザイン・メディアクエリの解説と演習
9	基礎⑨ CSSでのアニメーション、UI/UXと絡めた解説と演習
10	実践 ウェブページ制作課題① 課題の概要説明
11	実践 ウェブページ制作課題②
12	実践 ウェブページ制作課題③
13	実践 ウェブページ制作課題④
14	実践 ウェブページ制作課題⑤
15	実践 ウェブページ制作課題⑥

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

プロを目指す人のHTML&CSSの教科書

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	表計算基礎 I	藤田 恵子	無	1.5 単位 30 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Excelの基本的な操作とビジネスで必須の資料作成や集計、計算分析に使う関数、グラフなど自力で作成できる力を身に付けることを目標とし、Excel機能の特徴を理解し将来さまざまな仕事で活用できることを学習する。

【講義概要】

Excel内容ごとの課題を作成し印刷物で提出する。採点后返却し再度間違いやできない所をやり直ししながらできない所を克服する。基本操作、セルの書式設定、関数計算集計、関数使い方、グラフ、表作成編集、データベース等。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excel基本操作、シートの入力基本と書式設定、保存と印刷方法、設定、メニュー
2	Excel基本操作2、シート入力基本と書式設定2、四則計算と関数SUM合計AVERAGE平均MAX最大他
3	セルの書式設定、文字数値入力基本、表作成、セル結合、罫線編集、四則計算と基本の関数、%小数点
4	セルの書式設定、罫線表作成、行列幅設定変更、四則計算と基本関数と構成比率%絶対参照F4で\$絶対番地
5	円グラフ、折れ線グラフ、縦棒グラフ、横棒グラフ基本的なグラフ作成と編集方法、基本関数練習
6	端数処理（切捨rounddown切上roundup四捨五入round）絶対参照F4、small、large、Rank順位
7	ここまでの総合まとめ練習課題
8	条件判定IFの基本と応用1（and、or、not）ネスト（入れ子）、条件式テーブルなど
9	条件判定IFの練習と応用、データベース機能絞り込み抽出、複数条件の並べ替え、
10	グラフ作成と編集、折れ線と縦棒の複合グラフ作成、グラフの書式設定など。特殊な変更方法
11	表検索VLOOKUPの基本と応用、行検索Hlookupの活用と応用、データベース機能
12	Time時刻の計算、date日付の計算、賃金計算、成績管理、住所録、データベース、表検索応用
13	複数ページの印刷、印刷範囲、設定変更、複数シートの集計機能、複数ブックの集計
14	ここまでの総合まとめ練習課題1
15	ここまでの総合まとめ練習課題2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

実況出版60Hexcel I 教材 / 無限大出版Excel 演習問題 / MOS検定試験問題集 / 日本情報処理検定問題集3～1級

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	表計算基礎Ⅱ	藤田 恵子	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Excelの基本的な操作を理解し、ビジネスで必要な集計機能や分析に関する機能やグラフ作成、仕事で使える便利な機能の習得や印刷やデータの保護管理までを身に着けることを目標とする

【講義概要】

各回に配布したプリントの課題をしながら機能や集計方法などを学習し、いままでの復習を繰り返し練習しながら、毎回新しい機能や関数を学び練習します。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excelの基本機能、データ入力、文字入力、日付や時刻などの表示形式、ユーザ定義の活用（曜日や単位表示
2	行の高さ、列幅、行列非表示、表作成の罫線の編集、セル結合や左インデント字下げ、縦書き、ルビ表示
3	四則計算、合計・平均・最大・最小・セルの数など基本的な集計練習、データ並べ替え、通貨表示と%表示
4	端数処理と%表示形式、小数点以下の表示、単位や通貨記号表示、コメント使いかた、リンク方法・削除
5	IF判定の基本、IFのネスト・入れ子、and・or・notを活用したIF判定の活用、RANKI順位つけ降順・昇順
6	データ規則よりリスト作成、データ入力時の制限方法、エラー表示、請求書作成してみる、複数ページ数管理
7	印刷範囲の設定、ヘッダーフッター（ページ番号、シート名、日付時刻表示など）、印刷拡大縮小、余白設定
8	表検索VLOOKUPを活用して売上集計まとめる。データベース機能使う。HLOOKUPも活用
9	複数シートの串刺し演算による集計方法、シート間のリンクの設定、シートの保護、ブックの保護
10	ピボットテーブル機能によるクロス集計、自動集計方法の活用、グループ化の設定
11	データベース機能DSUM、DAVERAGE、DCOUNT、COUNTIF、SUMIFなどの活用による集計方法
12	複雑なグラフ作成、縦棒と折れ線の複合グラフ、円グラフ、積み上げ横棒などの編集について
13	総合まとめ1
14	総合まとめ2
15	総合まとめ3

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

無限大EXCEL(基礎編・応用編)/実教出版60時間遠州/日情検定の表計算問題集2級1級初段から)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	文書編集基礎	佐藤 薫	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Wordを使用して文書編集の機能を理解し、定型のビジネス文書、表や図入りの案内書、長文を効率よく作成できるようになることが目標。入力速度向上も目指す(最低400字以上/10分)

【講義概要】

機能の操作説明を理解して実習課題を2問ほど作成する。不明点は積極的に聞いて文書作成の基礎を身に付けよう。授業中に提出できなかった必須課題は後から必ず提出すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	Wordの画面構成、入力の基礎、タイピング練習、文書の保存
2	日本語入力システムの活用、ページ設定と文書の印刷プレビュー
3	一般的なビジネス文書の作成(1)、ビジネス文書のルール
4	一般的なビジネス文書の作成(2)、インデントとタブで文字位置を揃える
5	一般的なビジネス文書の作成(3)、文字、段落の書式設定
6	シンプルなレポートや報告書の作成(1)
7	シンプルなレポートや報告書の作成(2)
8	ヘッダーとフッターの設定、総合問題①
9	表を使った文書の作成
10	表の編集、Excelデータの取り込み
11	画像や図形を使った文書の作成
12	ワードアート、図解(SmartArt)で情報を伝える文書の作成
13	効率の良い長文作成の機能
14	まとめ
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	90%			10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

情報利活用文書作成word2019対応

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	情報処理科3年制	2023年		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	CompTIA A+対策	藤野 麻朗	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

PC/AT互換機のハードウェア理解とWindowsを中心としてOSの理解を行う

【講義概要】

1001にてコンピューターハードウェアの詳細及びトラブルシューティングを学ぶ
1002にてOSやモバイル、ヘルプデスクの人的対応について学ぶ

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーションとレッスン1 (1001) PCコンポーネントのインストールと構成 レッスン2 (1001) ディスプレイ及びマルチメディアデバイス
2	レッスン3 (1001) ストレージデバイス
3	レッスン4 (1001) 内部システムコンポーネント
4	レッスン5 (1001) ネットワークインフラストラクチャ
5	レッスン6 (1001) ネットワーク構成とトラブルシューティング レッスン7 (1001) 仮想化とクラウド
6	レッスン8 (1001) ノートPC レッスン9 (1001) モバイルデバイスのサポートとトラブルシューティング レッスン10 (1001) 印刷デバイス 復習
7	中間試験
8	レッスン1 (1002) OSのサポート レッスン2 (1002) OSのインストール、構成、メンテナンス
9	レッスン3 (1002) Windowsのメンテナンスとトラブルシューティング レッスン4 (1002) ネットワーク構成とトラブルシューティング
10	レッスン5 (1002) ユーザー、PC、共有資源管理
11	レッスン6 (1002) セキュリティの概念 レッスン7 (1002) PCとデータ保護
12	レッスン8 (1002) PCのセキュリティ問題のトラブルシューティング レッスン9 (1002) モバイルデバイスのサポートとトラブルシューティング
13	レッスン10 (1002) 運用手順の実施
14	レッスン10 (1002) 運用手順の実施 総復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%	10%	20%	10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

5年間SEとして勤務、その後は企業向けIT系講師として勤務。ネットワーク、Windowsサーバー構築、Linuxサーバー構築、仮想化、CompTIA関連などの社員向け研修等を担当。

【教科書・参考文献】

CompTIAのThe Official CompTIA Contents (OCC)A+1001、A+1002。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ITパスポート対策		小泉 真理子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験合格を目標とする。

【講義概要】

ITパスポート試験の資格対策を行う。用語と過去問を理解し、資格取得を目指す。
合格者は前期は基本情報技術者試験午前の学習を行う。後期からは授業・定期試験を免除する。

回	授業計画及び学習の内容
1	ITパスポート試験の概要
2	ストラテジ系
3	ストラテジ系
4	ストラテジ系
5	ストラテジ系
6	ストラテジ系
7	ストラテジ系
8	中間試験
9	マネジメント系
10	マネジメント系
11	マネジメント系
12	マネジメント系
13	マネジメント系
14	マネジメント系
15	マネジメント系

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%		40%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。

【教科書・参考文献】

ITパスポート試験過去問題

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	基本情報対策 I		高嶋 知由	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験の午前問題分野について、演習・解説を繰り返し行う。

【講義概要】

計算問題や仕組みは理解すること、用語問題はキーワードを覚えることを中心とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	基礎理論
2	ハードウェア
3	情報処理システム
4	ソフトウェア
5	ネットワーク
6	セキュリティ
7	中間試験
8	テクノロジ系用語問題
9	データベース
10	データ構造・アルゴリズム
11	開発技術
12	マネジメント
13	ストラテジ
14	総合問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	20%				100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

基本情報技術者午前問題集（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	基本情報対策Ⅱ	稲垣 高宏	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報処理技術者試験のA区分の免除試験に受かることを目指す。

【講義概要】

ひたすら過去の問題を解く

回	授業計画及び学習の内容
1	過去の問題の演習
2	過去の問題の演習
3	過去の問題の演習
4	過去の問題の演習
5	過去の問題の演習
6	過去の問題の演習
7	過去の問題の演習
8	認定試験
9	認定試験
10	過去の問題の演習
11	過去の問題の演習
12	過去の問題の演習
13	過去の問題の演習
14	過去の問題の演習
15	過去の問題の演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%			40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

【教科書・参考文献】

適時必要なプリント配布。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力I	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける
 ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

【講義概要】

- ①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習
7	中間試験
8	図形問題（角度）
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- （補足）
 ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基本学力Ⅱ	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

①就職試験（SPIなど）対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現在の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

【講義概要】

①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	日本語の基礎知識No.1、数学の基礎計算P.128～133、文章問題(仕事算)
2	日本語の基礎知識No.2、数学の基礎計算P.134～139、文章問題(割合算)
3	日本語の基礎知識No.3、数学の基礎計算P.140～145、文章問題(定価算)
4	日本語の基礎知識No.4、数学の基礎計算P.146～151、文章問題(速度算)
5	日本語の基礎知識No.5、数学の基礎計算P.152～157、文章問題(流水算)
6	日本語の基礎知識番外編、数学の基礎計算P.158～165、文章問題(通過算)
7	中間考査
8	日本語の基礎知識No.6、数学の基礎計算P.166～171、式の展開
9	日本語の基礎知識No.7、数学の基礎計算P.172～177、因数分解(1)
10	日本語の基礎知識No.8、数学の基礎計算P.178～183、因数分解(2)
11	日本語の基礎知識No.9、数学の基礎計算P.184～189、平方根
12	日本語の基礎知識No.10、数学の基礎計算P.190～195、二次方程式
13	日本語の基礎知識No.11、数学の基礎計算P.196～201、n進法
14	日本語の基礎知識No.12、数学の基礎計算P.202～209、集合
15	期末考査

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネスマナーI	今村 朋子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

学校生活を送るための基本的なルールの徹底と社会生活のマナーの習得を目指します。挨拶の励行に始まり言動や行動に至るまで、なぜ必要なのかを理解し納得した上で習慣化を図ります。ビジネスマナーが単なるルールではなく、コミュニケーションの土台になることを体験し、実践行動につなげます。

【講義概要】

授業は講義と演習から構成され、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標としています。楽しく学ぶ意識改革と行動変容がテーマです。

回	授業計画及び学習の内容	
1	第1章 専門学校生としてのマナー 授業のルール・学校のルールの確認	マナーとルールの違い 敬礼と挨拶
2	「第1章 好感度アップのポイント 身だしなみの基本	第一印象決定要素 敬語の知識 状況や立場による話し方を理解する
3	第2章 外出先でのマナー 公の場や家庭でのマナー	日常の立ち居振る舞いについて
4	第2章 接遇について 茶菓接待・ワンランク上のおもてなし	訪問とおもてなしを知る
5	第3章 食事のマナー① 箸遣いの基本	食事の作法と歴史 和食・日本料理のいただき方
6	第3章 食事のマナー② 洋食・フランス料理・中華料理・デザート	食文化・料理の文化を学ぶ のいただき方
7	中間試験	
8	第4章 書き方のマナー① 手紙・封筒・はがきの書き方	
9	第4章 書き方のマナー② ビジネス文書	社内文書・社外文書・社公文書について
10	第5章 人生の節目のしきたり① 贈答の知識とマナー	
11	第5章 人生の節目のしきたり② 慶事・弔事のマナー	
12	第6章 社会人としてのマナー 社会人への心構え、	ビジネスマナーの基本
13	第7章 年中行事と暮らしの歳時記 人生時間の歳時記	日本の文化と伝統を知る
14	第8章 国際人としてのマナー 国際社会でのマナー	多様性を受け入れる 挨拶、ジェスチャーの違い等
15	期末試験	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

【教科書・参考文献】

「各クラス共通 「楽しく学べるマナーの基本」

東京電子専門学校 情報処理科3年制

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネス検定対策	今村 朋子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ビジネス能力検定3級合格を目指す。
ビジネスの基本的な在り方を学び、実務力とコミュニケーション力をつける。

【講義概要】

ビジネスの基礎知識を学び、検定日までは毎回演習問題を実施し理解を深めます。
ビジネス能力検定終了後は、さらなる自己啓発に取り組み、就職活動の準備へ繋げて行きます。

回	授業計画及び学習の内容
1	キャリアと仕事へのアプローチ 働く意識 演習問題
2	仕事の基本となる8つの意識 演習問題
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本 演習問題
4	指示の受け方と報告・連絡・相談 演習問題
5	話し方と聞き方のポイント 敬語の種類と必要性 演習問題
6	来客応対と訪問の基本マナー 面談と名刺交換 演習問題
7	中間試験
8	会社関係でのつき合い 冠婚葬祭の基本 演習問題
9	仕事への取り組み方 定型業務と否定形業務 演習問題
10	ビジネス文書の基本 社内文書・社外文書・社交文書 演習問題
11	電話応対 電話の受け方・かけ方 取りつぎの仕方 演習問題
12	統計・データの読み方・まとめ方 表とグラフ 演習問題
13	情報収集とメディアの活用 インターネット・新聞 演習問題
14	会社を取り巻く環境と経済の基本 求められる人材とは 演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

【教科書・参考文献】

「ビジネス能力検定3級」テキスト及び問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	経営	古郡 聡	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

IT社会を支えている情報システムを中心とした戦略について、経営戦略と企業について学ぶ。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。

【講義概要】

毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す

回	授業計画及び学習の内容
1	企業活動の目的
2	企業会計
3	オペレーションズリサーチ(1)
4	オペレーションズリサーチ(2)
5	経営工学・品質管理
6	法務と標準化
7	中間試験
8	経営戦略マネジメント(1)
9	経営戦略マネジメント(2)
10	技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ
11	e-ビジネス
12	情報システム戦略
13	情報システム企画
14	開発技術
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	70%	10%		20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

教育機関にて学内のシステム開発業務に従事

【教科書・参考文献】

IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		1年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習 I	情報処理科3年制 担当教員	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1日目、2日目）
6	
7	
8	学園祭（1日目）
9	
10	
11	学園祭（2日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

- （補足）
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

--

【教科書・参考文献】

--

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	C言語演習Ⅲ		稲垣 高宏	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

C#を理解して、ウィンドウズのアプリが作成できるようになる。

【講義概要】

C言語を理解している前提でC#の文法を説明する。
とにかく演習で手を動かしてプログラムを実行する。

回	授業計画及び学習の内容
1	vscodeのつかいかた。C#の基本的な型。四則演算。
2	フォームの基礎
3	制御文(if for whileなど)
4	配列と構造体など
5	文字列
6	クラス
7	イベントとデリケート
8	フォームの制御
9	グラフィックスの基礎
10	例外処理など
11	ファイルの扱い
12	ネットワーク
13	LINQ、演算子のオーバーロード、ジェネリック
14	まとめと総合演習1
15	まとめと総合演習2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合			60%	40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Java演習 I		稲垣 高宏	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

JAVAの文法を理解する。特に、クラス概念を詳しく教える。C言語の文法は、知っているものとして進める。処理の流れを理解し、プログラムを作成する能力を養う。
基礎を学ぶ。文法の内容を踏まえ演習を行って理解を深める

【講義概要】

回 授業計画及び学習の内容

1 プログラムの書き方

2 式と演算子

3 制御文ifとfor

4 配列

5 メソッド

6 クラス

7 まとめ1

8 オブジェクト指向

9 インスタンスとクラス

10 クラスと機構

11 カプセル化

12 継承1

13 経書2

14 多様性

15 まとめ2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合			60%	40%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	Java文法 I		稲垣 高宏	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

JAVAの文法を理解する。特に、クラス概念を詳しく教える。C言語の文法は、知っているものとして進める。処理の流れを理解し、プログラムを作成する能力を養う。基礎を学ぶ。

【講義概要】

回	授業計画及び学習の内容
1	プログラムの書き方
2	式と演算子
3	制御文ifとfor
4	配列
5	メソッド
6	クラス
7	まとめ1
8	オブジェクト指向
9	インスタンスとクラス
10	クラスと機構
11	カプセル化
12	継承1
13	経書2
14	多様性
15	まとめ2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

メーカー系IT企業でSE、プログラマーとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	Java資格対策		坂本 知美	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Javaの資格試験であるJava SE Bronze (1Z0-818) に合格することを到達目標とする。
これまでの授業で学んだJava文法やオブジェクト指向の考え方を復習しながら、試験問題の傾向を学ぶ。

【講義概要】

教科書や配布プリントの練習問題について解説する。

回	授業計画及び学習の内容
1	Javaの特徴、Javaの各種エディションの特徴、データ型、変数宣言
2	コマンドライン引数、mainメソッド、演算子
3	分岐文
4	while、for
5	continue、break、ネスト
6	中間試験対策
7	中間試験
8	オブジェクト指向の概念
9	クラスの定義、インスタンスの生成
10	オーバーロード、コンストラクタ
11	アクセス修飾子、static
12	オーバーライド
13	インタフェース、抽象クラス、抽象メソッド、パッケージ
14	期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

インプレス社 徹底攻略Java SE Bronze問題集 [1Z0-818] 対応

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Webプログラミング		坂巻 真美	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

XAMPP環境を用いてWebシステムの基本的な仕組みやシステム構築について学習します。

【講義概要】

各回のテーマに関する演習を通して理解を深めます。

回	授業計画及び学習の内容
1	PHP入門
2	PHP基礎 - 書き方/実行方法・変数
3	PHP基礎 - 組み込み関数
4	PHP基礎 - Webフォーム
5	PHP基礎 - 配列・算術演算子・条件分岐・リダイレクト
6	PHP基礎 - 未入力チェック・フィルタリング
7	PHP基礎 - 選択タグとPHP
8	ここまでのまとめ
9	中間課題
10	PHP応用 - 繰り返し・連想配列・多次元配列
11	PHP応用 - 自作関数・ファイル分割
12	PHP応用 - セッション
13	PHP応用 - DB・例外処理
14	ここまでのまとめ
15	最終課題

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	40%			20%	40%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

PHP Tutorial (オリジナルテキスト) 基礎・応用

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	JavaScript	高橋 義弘	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

JavaScriptの目的や役割をしっかりと理解したうえで、DOMの制御を行い、適切なブラウザレンダリングを行うことができるようになる。Web APIの取得を学習し、Webアプリの制作方法を理解できるようになる。

【講義概要】

本講義ではプログラミング用のエディタの基本的な使い方についても習得する。理解度を図るためのテストも実施する。自主学習も必要不可欠である。教科書を使用するため、教科書は必携すること。(貸出不可)

回	授業計画及び学習の内容
1	JavaScript基礎： DOMを理解して、HTML/CSSの内容を書き換える
2	JavaScript基礎： マウスイベントの取得について
3	JavaScript基礎： 条件分岐文、繰り返し文などの制御文法の学習
4	JavaScript基礎： アニメーションの設定、課題
5	JavaScript基礎： Mathオブジェクトの学習
6	小テスト1回目：これまでの総復習
7	JavaScript基礎： Dateオブジェクトの学習
8	JavaScript基礎： Dateオブジェクトの学習
9	テスト2回目：デジタル時計の作成
10	テストの解説
11	JavaScript応用： 簡易郵便番号検索 (WebAPIの活用)
12	JavaScript応用： 天気予報アプリ作成 (WebAPIの活用)
13	JavaScript応用： 天気予報アプリ作成 (JSONデータの活用)
14	総合演習
15	総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	30%	50%		20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

【教科書・参考文献】

JavaScript [完全] 入門、柳井政和、SBクリエイティブ社

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	UML I		坂本 知美	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

UMLで規定されている各モデルに対する表記法を学ぶ。
また、オブジェクト指向の考え方についても触れる。UMTP L1(T1, T2)レベルの知識習得を目指す。

【講義概要】

教科書の解説を読みながら授業を行っていく。
毎回の授業で練習問題や補足事項をプリントとして配布する。

回	授業計画及び学習の内容
1	オブジェクト指向の基本、モデリングの基本概念
2	ユースケース図
3	オブジェクト図
4	クラス図1
5	クラス図2
6	シーケンス図1
7	中間試験
8	シーケンス図2
9	コミュニケーション図
10	ステートマシン図1
11	ステートマシン図2
12	アクティビティ図
13	その他の図について、ノート、ステレオタイプ、メタ属性、制約
14	基本情報技術者試験 過去問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

「かんたんUML入門」技術評論社

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	データベース演習 (SQL)		久良知 眞紀子	有	3単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
簡単なデータベースを構築し、SQLによってデータが自由に取扱えるようになることを目指す。							
【講義概要】							
データベースの授業で学んだ内容を、XAMPPのデータベース管理システムMariaDBを用いて確認する。SELECT文によるデータ抽出、CREATE、INSERT、UPDATE、DELETEによる表の作成・更新を学ぶ。SQL文を7回に分けて復習する。復習した次の回には、その内容を使った演習を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	XAMPPの概要説明、サンプルデータベースのインポート。 サンプルデータを使って、SELECT命令、DISTINCTキーワード、WHERE句の演習を行う。						
2	あいまい検索 (LIKE)、論理演算子 (演算子の強度)、並べ替え (ORDER BY) 特定範囲のレコードの抽出 (LIMIT)、日付データの取扱い、NULLの扱い						
3	集計、グルーピング (GROUP BY)、別名 (AS)、文字列/日付データの加工 (各種関数) グルーピング結果に対する条件設定 (HAVING)、条件による値の変更 (CASE)						
4	テーブル結合 (内部結合、外部結合、自己結合)						
5	復習問題 (1回～4回)						
6	サブクエリ、複数テーブルからのデータ結合 (UNION)、復習問題 (1回～4回)						
7	中間試験 (実施予定なし)						
8	仮想テーブルの作成 (VIEW)、データの登録 (INSERT)、更新 (UPDATE)、削除 (DELETE) サブクエリとの組合せ						
9	データベース、テーブルの作成・削除 (CREATE、DROP)						
10	総合演習1						
11	総合演習2						
12	総合演習3						
13	総合演習4						
14	総合演習5						
15	期末試験 (実施予定なし)						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(毎回の授業で行う 演習結果の提出物)	合計
	割合					100%	100%
	(補足)	・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
① 銀行でシステム開発 (2年) ②ソフトウェア開発会社でシステム開発 (2年) ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング (20年)							
【教科書・参考文献】							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Oracle DBA		坂井 剛	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Oracle管理者として必要なデータベース構成の基本知識、及び初歩的な管理技術の修得を目的とする。
Oracle Master Bronze DBA (2019/12c) 試験の受験を視野に入れた内容となる。

【講義概要】

仮想環境を使い実際にデータベースの構築と管理作業を体験する。
OSのインストール、DBMS構築、運用、障害対策、トラブルシューティングまで演習を通し経験を積む。

回	授業計画及び学習の内容
1	Oracleデータベースのインストールおよびデータベース作成
2	データベースの起動と停止、データベース管理ユーザの基礎理解
3	OracleNet及びネットワーク構成と設定
4	Oracleインスタンスの理解とパラメータ設定
5	データベース記憶域と構成ファイル群
6	SQLを使用したデータベース構築と詳細設定
7	中間試験
8	ユーザアカウントと権限
9	スキーマオブジェクト (ビュー・索引・順序・別名・関数・トリガー)
10	データのバックアップとリストア、データのインポート・エクスポート
11	フラッシュバック機能
12	データベースの監視とアドバイザの利用
13	障害とトラブルシューティング
14	総復習、及び最終演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大学院出身後、8年間SEとしてIT業界に携わる。
現在教員としては13年目となる。
※Oracleに関してはOracle10g/11g/12cのSilver所持。

【教科書・参考文献】

『Bronze DBA Oracle Database Fundamentals』 (翔泳社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Linux I		鈴木 俊	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Linuxの利用に必要な基礎知識と基本操作方法（ファイル操作からシステム管理まで）を習得することを目標とする。

【講義概要】

各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題とする。使用するLinuxはRedHat系のAlmaLinux8.6とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Linuxの環境構成、FHSとディレクトリの移動（pwdコマンド、cdコマンドなど）
2	ファイル操作（cpコマンド、mvコマンド、など）
3	メタキャラクタの利用
4	標準入出力とリダイレクト
5	viエディタ
6	ストリームエディタ（sedコマンド、パイプライン）
7	中間試験
8	シェルスクリプト
9	ユーザーとグループの管理
10	所有者管理とアクセス権の設定
11	プロセス管理
12	デバイスとファイルシステムの管理
13	パッケージ管理
14	システム管理
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%			60%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事
携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	LinuxⅡ		鈴木 俊	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

WebサーバーやDNSサーバーをはじめとする各種Linuxサーバーの構築技術の習得、また、サーバー公開時におけるセキュリティ知識の習得を目標とする。

【講義概要】

各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題とする。使用するLinuxはRedHat系のAlmaLinux8.6とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Linuxの環境構築
2	ネットワークの設定
3	WEBサーバーの構築（Apacheの導入）
4	WEBサーバーの構築（ApacheのBasic認証、Digest認証の導入）
5	PHPの利用
6	PHPとMariaDBの連携
7	FTPサーバーの構築（VSFTPd）
8	中間試験
9	DNSサーバーの構築（DNS概要、BIND）
10	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecot）①
11	メールサーバーの構築（Postfix、Dovecot）②
12	アカウントのセキュリティ（PAM）
13	SSHの公開鍵-秘密鍵を利用した認証
14	Firewalldの設定
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%			60%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事
携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	LPIC/LinuC対策		平塚 悠生	無	2単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
Linux Essentialsを取得する						
【講義概要】						
CentOSの基本的な操作を習得していることを前提として、Linux Essentials試験対策に特化した知識の整理を行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	パス、ユーザ、コマンドの基本書式					
2	シェル変数と環境変数					
3	ファイルとディレクトリの操作					
4	テキストファイルの操作					
5	アーカイブの作成展開、圧縮と解凍					
6	ここまでの復習					
7	中間試験					
8	テキストエディタvi、スクリプトの基本					
9	各種ディレクトリの役割					
10	ユーザとグループの作成削除編集					
11	ファイルとディレクトリのパーミッション編集					
12	特殊なパーミッション					
13	Linuxのディストリビューションとライセンス					
14	ここまでの復習					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						
教科書：JMAM Linux Essentials合格テキスト&問題集						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	進級制作		稲垣 高宏	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

設計書などのドキュメントを作成しながら、制作物を完成させることを目的とする。
できるだけテンプレート等を使わずに自分でプログラムを記述することで、プログラミング力の向上を目指す。

【講義概要】

制作に必要な技術情報は、自分たちで適宜調査しながら作業を行うこととする。
提出期限に間に合うように、必要に応じて放課後等の時間も活用して作業する。

回	授業計画及び学習の内容
1	企画書作成
2	設計書作成
3	プログラム作成1
4	プログラム作成2
5	プログラム作成3
6	プログラム作成4
7	発表準備
8	中間発表
9	制作物の修正1
10	制作物の修正2
11	制作物の修正3
12	制作物の修正4
13	発表準備
14	最終発表1
15	最終発表2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（チーム内評価）	合計
割合			30%	30%	40%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。
20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	システム設計	清野 ひろし	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

システム設計技術の基本となるウォーターフォールモデルの流れを基にして、設計に必要な技術を学習する。

【講義概要】

ウォーターフォールモデルの流れを理解し、設計でやるべきことを学ぶ。その上で、データ中心設計やアジャイル開発の目的や意味を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	シラバス説明、システム開発モデル
2	システム開発コストモデル、要求仕様
3	要求仕様、システム化準備
4	練習問題Aの解説、システム分析手法
5	システム設計図法 DFD、E-R図
6	構造化チャート
7	中間試験 ここまでの理解度チェック
8	中間試験解説、練習問題Bの解説、システム設計技法
9	外部設計
10	内部設計
11	練習問題C解説、プログラム設計
12	プログラム設計
13	DBのテーブル設計
14	練習問題D解説、DB課題説明、期末範囲説明
15	期末試験 全体の理解度の確認

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	75%		15%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

8年間、SEとして実務経験あり。主に言語関係 (C、java、C++、C#、php、など)、linux、データベースなどを担当する。

【教科書・参考文献】

特になし。必要な資料は印刷やpdf形式で配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アプリケーション演習	黒澤 純一	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

様々なコンテンツ制作に利用することができるAdobeアプリケーションの基本的な技術習得と、デザインの基礎的な学習を通じて、ビジネスシーンで重要な「ユーザー視点」を身につけることを目指す。

【講義概要】

授業前半は、表現手法とAdobeアプリの機能について解説し、授業後半は、学習した内容を基に課題制作に取り組むことで理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	本講義の概要説明、iMac基本操作、Google各種アプリの演習
2	デザイン基礎① デザインとアートの違い、デザインの4原則、名刺作成 (Illustrator演習)
3	デザイン基礎② 画像編集、簡単なポスター制作 (Photoshop演習)
4	デザイン基礎③ ユーザビリティについて、情報整理とレイアウト (Photoshop演習)
5	デザイン基礎④ ウェブデザイン演習、UI/UX、スマホとPCでのデザインの違いについて
6	デザイン基礎⑤ 続き
7	【実習課題】自分チラシの制作 課題説明、企画/制作のフローについて学習
8	【実習課題】企画 ワイヤフレーム配布、必要項目・要素について確認、文章作成
9	【実習課題】企画 続き デザインのテイスト・レイアウト、画像優位性効果について
10	【実習課題】企画&制作 続き 個別チェックバック
11	【実習課題】企画&制作 続き 個別チェックバック
12	【実習課題】修正・ブラッシュアップ
13	【実習課題】作品鑑賞/評価会・振り返り
14	【課題】作品制作
15	【課題】作品制作

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったテキストの配布

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	情報処理科3年制	2023年		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	基本情報対策Ⅲ	産学連携	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験への合格を目指す。特に本授業では、基本情報技術者試験の科目B試験が解けるような力を養成する。

【講義概要】

基本情報技術者試験の合格を目指し、過去問題を中心に演習を行う。基本的な知識は既に身につけているであろうとの前提のもと、より思考力が問われる科目B問題を中心に演習を進める。また、学習が不十分だと考えられる分野については、適宜、講義形式で説明を実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	疑似言語の基礎
2	配列1
3	配列2
4	探索処理1
5	探索処理2
6	総合演習1
7	整列処理1
8	整列処理2
9	データ構造1
10	データ構造2
11	オブジェクト指向
12	セキュリティ1
13	セキュリティ2
14	セキュリティ3
15	科目B 模擬試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	20%			80%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

新人研修や社会人教育を行っている教育ベンダから講師を派遣してもらい授業を開講

【教科書・参考文献】

基本情報技術者試験科目B対策問題集、オリジナルテキスト(インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語 I	酒井 智子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

【講義概要】

身近で興味深い題材で実践的な会話音読を行い、楽しみながら語彙を増やし即戦力となる基盤を築きたい。小テストや課題を原則毎回こなし、積極的な取り組みによる成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション、5文型8品詞
2	Unit 1 空港で [文法：第1文型～第3文型]
3	Unit 2 マンションに到着 [文法：第4～5文型、自動詞と他動詞、There + be動詞+名詞] (1)
4	Unit 2 マンションに到着 [文法：第4～5文型、自動詞と他動詞、There + be動詞+名詞] (2)
5	Unit 3 お客様を迎える [文法：不定詞①・動名詞] (1)
6	Unit 3 お客様を迎える [文法：不定詞①・動名詞] (2)
7	中間試験
8	Unit 4 デパ地下でお買い物 [文法：不定詞② 形容詞的用法・副詞的用法・その他] (1)
9	Unit 4 デパ地下でお買い物 [文法：不定詞② 形容詞的用法・副詞的用法・その他] (2)
10	Unit 5 お花見 [文法：分詞] (1)、受動態
11	Unit 5 お花見 [文法：分詞] (2)
12	Unit 6 浅草へ行こう！ [文法：等位接続詞] (1)
13	Unit 6 浅草へ行こう！ [文法：等位接続詞] (2)
14	Unit 7 秋葉原を散策 [文法：従属接続詞]
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	90%	3%	5%	2%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

公立高校教師、外資系化学メーカー勤務を経て2002年より本校非常勤講師（臨床工学科・臨床検査科・情報学部）。医療系大学の薬学部にて講師経験あり。 取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級（日本医療通訳協会）

【教科書・参考文献】

初級英語で紹介するニッポン - 続・イングリッシュ・ワンス・モア！ - （朝日出版社）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ	酒井 智子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

【講義概要】

身近で興味を促す題材に基づいた実践的な会話文の読解を行い、楽しみながら語彙を増やし文法事項の定着をはかる。小テストや課題を通して、積極的な取り組みにより成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。

回	授業計画及び学習の内容				
1	Unit 6	浅草へ行こう！	[文法： 等位接続詞]	(1)	前期の復習（分詞構文）
2	Unit 6	浅草へ行こう！	[文法： 等位接続詞]	(2)	
3	Unit 7	秋葉原を散策	[文法： 従属接続詞]	(1)	
4	Unit 7	秋葉原を散策	[文法： 従属接続詞]	(2)	
5	Unit 8	平和への祈り	[過去完了形]	(1)	
6	Unit 8	平和への祈り	[過去完了形]	(2)	
7	中間試験				
8	Unit 9	京都旅行：新幹線の旅	[文法： 話法①]	(1)	
9	Unit 9	京都旅行：新幹線の旅	[文法： 話法①]	(2)	
10	Unit 10	茶道初体験	[文法： 話法②]	(1)	
11	Unit 10	茶道初体験	[文法： 話法②]	(2)	
12	Unit 11	京都の思い出	[関係代名詞①]	(1)	
13	Unit 11	京都の思い出	[関係代名詞①]	(2)	
14	Unit 12	日本滞在最後の日：築地市場～上の公園	[関係代名詞②]		読解
15	期末試験				

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	90%	3%	5%	2%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

公立高校教師、外資系化学メーカー勤務を経て2002年より本校非常勤講師（臨床工学科・臨床検査科・情報学部）。医療系大学の薬学部にて講師経験あり。 取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級（日本医療通訳協会）

【教科書・参考文献】

初級英語で紹介するニッポン - 続・イングリッシュ・ワンス・モア! - (朝日出版社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネス数学	氏原 真代	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な数学の考え方、公式を理解する。特に割合の考え方を身につける。把握力・分析力・選択力・予測力・表現力のレベルを上げ、ビジネス数学検定に合格する。

【講義概要】

ビジネス数学検定で出題されるような計算問題を考える力を養う。毎回いろいろな分野の問題を扱うことで、問題に慣れ、自分なりの考え方ができるようにする。

回	授業計画及び学習の内容
1	割合と百分率(1) 原価, 定価, 利益, 値引き, 売価, 純利益
2	割合と百分率(2) 金利の計算, 単利, 複利
3	予測力(1) データからの予測, 仕事算, 作業時間, 累積時間
4	予測力(2) 不等式, 売上高の比較
5	選択力(1) 評価の重みづけ, 期待値
6	百分率と割合・予測力・選択力のまとめ 演習問題
7	中間試験
8	グラフ(1) グラフの種類
9	グラフ(2) グラフを読む, グラフを書く
10	集合 ベン図, 集合の法則, 顧客調査
11	データの分布(1) 散布図, 相関係数
12	データの分布(2) ヒストグラム, バブルチャート
13	選択力(2) 顧客管理
14	グラフ・集合・データ分布・選択力のまとめ 演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合 (補足)	80%	10%		10%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリント配布, ビジネス数学検定3級

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	一般常識 I	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容			
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7
8	中間試験			
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13
15	期末試験			

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容			
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7
8	中間試験			
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13
15	期末試験			

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅰ	鈴木 俊	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

自分にあった職に就くために行うとよい「自己分析」と「自己PR文の作成」の基本的な方法を習得することを目標とする。

【講義概要】

各回、テーマに沿ったグループワーク、グループディスカッションを実施する。各回のワークに参加することを課題として、ワークを通じて記入したシートを提出する。

回	授業計画及び学習の内容
1	グループディスカッション（自分の「モノの見方」を考える）
2	グループディスカッション（よい就職とは何かを考える。職業選択理論）
3	グループディスカッション（自分が就職に求めるもの考える）
4	グループディスカッション（トレードオフを考える）
5	グループディスカッション（少子高齢化・人口減少）
6	中間試験
7	グループディスカッション（他己紹介）
8	個人ワーク（自己PR作成）
9	グループワーク（伝わりやすい文章の構成を考える①（論理の構成））
10	グループワーク（伝わりやすい文章の構成を考える②（グルーピング））
11	グループワーク（伝わりやすい文章の構成を考える③（因果関係））
12	グループワーク（伝わりやすい文章の構成を考える④（文章のブラッシュアップ方法））
13	個人ワーク（自己PRの構成と文章化）
14	グループディスカッション（職種・業界知識）
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%			60%		100%

（補足）
 ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

インフラ（NW、サーバー）のIT会社にて、営業、人事・労務管理、求人・採用業務に従事

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ	鈴木 俊	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

自分に合った仕事・働き方・志望企業を考える力をつける。また、その志望を実現していくために必要となる自己PR方法やビジネススキルの基本を身につけることを目標とする。

【講義概要】

各回のテーマに関するワーク（個人ワーク、グループワーク、グループディスカッション）を実施する。ワークを通じて作成したシートを課題として提出する。

回	授業計画及び学習の内容
1	グループディスカッション（会社選びのものさしを考える）①
2	グループディスカッション（会社選びのものさしを考える）②
3	グループディスカッション（職種を考える）
4	グループディスカッション（雇用形態を考える）
5	グループディスカッション（仕事内容ごとの働き方の特徴を考える）
6	グループディスカッション（自分のキャリアプランを考える）
7	中間試験
8	ビジネスメールの書き方、注意点①
9	ビジネスメールの書き方、注意点②
10	面接対策（面接でやってはいけないこと）
11	面接対策（自己PR・志望動機を口頭で伝える際の注意点と練習）①
12	面接対策（自己PR・志望動機を口頭で伝える際の注意点と練習）②
13	グループディスカッション対策①（取り組む際の考え方、注意点）
14	グループディスカッション対策②（取り組む際の考え方、注意点）
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%			60%		100%

（補足）
 ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

インフラ（NW、サーバー）のIT会社にて、営業、人事・労務管理、求人・採用業務に従事

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネスマナーⅡ	今村 朋子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。
併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しも行う。

【講義概要】

授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。

回	授業計画及び学習の内容	
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」	今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス
2	「身だしなみ」について	第一印象の形成、重要性 初対面での注意点
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ	的確な報告、連絡、相談の方法
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本	
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす	T、P、Oに合わせた言葉遣い
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー	「ホスピタリティ」と「サービス」
7	中間試験	
8	電話の応対① 電話応対の注意点	「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応
9	電話の応対② 電話応対の注意点	「掛け方」の基本 伝言メモの作成
10	問のマナー 名刺の取り扱い	名刺交換の手順 紹介の仕方
11	応接のマナー お茶の出し方	席次のルール 応接室、車、乗り物の席次
12	交際のマナー①	慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー
13	交際のマナー②	お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう	
15	期末試験	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

【教科書・参考文献】

「社会でいきる 実践ビジネスマナー」

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ		情報処理科3年制 担当教員	無	1.5単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。</p>						
【講義概要】						
この授業は学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。						
回	授業計画及び学習の内容					
1						
2	学園祭準備（1日目、2日目）					
3						
4						
5	学園祭（1日目）					
6						
7						
8	学園祭（2日目）、後片づけ					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%
（補足） <ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 						
【教員紹介】						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Java演習Ⅲ		坂本 知美	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Javaプログラムの応用として、ソケット通信やUnitテストを行うプログラムを作成する。また、サーブレットやJSPを用いたWebプログラムも作成する。

【講義概要】

毎回の授業で課題となるプログラムを作成する。前半は授業資料を毎回配布する。後半は教科書を使用する。

回	授業計画及び学習の内容
1	これまでの復習、統合開発環境Eclipseの使い方
2	ソケット通信①
3	ソケット通信②
4	WebAPIを使用したプログラム
5	Unitテスト
6	サーブレットの基本①
7	サーブレットの基本②
8	JSPの基本①
9	JSPの基本②
10	サーブレットからデータベースを使用する①
11	サーブレットからデータベースを使用する②
12	セッション
13	MVCパターン
14	総合演習
15	総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合						

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
 ・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
 ・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

基礎からのサーブレット/JSP 新版 (SBクリエイティブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	モバイルアプリケーション開発		仲 智弘	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Androidでの実践的なプログラミング技術の習得

【講義概要】

Androidアプリ制作

回	授業計画及び学習の内容
1	開発環境構築、Android Studioについて、Hello World アプリ作成
2	イベントドリブン
3	ListView、ダイアログ
4	ConstraintLayout
5	画面遷移、Intent
6	オプションメニュー、コンテキストメニュー
7	データベースアクセス
8	データベースアクセス
9	非同期処理
10	メディア再生
11	バックグラウンド処理、通知機能
12	地図アプリとの連携
13	カメラアプリとの連携
14	マテリアルデザイン
15	リサイクラービュー

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%			40%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Python		仲 智弘	有	3単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
Pythonの基本文法を理解する。						
【講義概要】						
座学の講義を中心とするが、演習課題としてPCを使用したプログラミングを実施する。座学のため定期試験を実施する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	言語の基礎					
2	データ型					
3	関数					
4	クラス					
5	条件分岐、繰り返し					
6	繰り返し、内包表記					
7	中間試験					
8	継承、インターフェース、Mixin					
9	デコレータ、property、クラス変数、クラスメソッド、スタティックメソッド					
10	例外処理					
11	スコープ、import、PyPI					
12	mypy、Optional、ラムダ、クロージャ					
13	ジェネレータ					
14	まとめ					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%			40%		100%
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】						
独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。						
【教科書・参考文献】						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	応用プログラミング	清野 ひろし	有	4.5単位 90時間

【授業の到達目標及びテーマ】

C#プログラムの基本的な作成法を学習する。

【講義概要】

主に、コンソールアプリにより、データの扱い、制御構造、C#のオブジェクト指向要素を学習する。その中で、できるだけC#特有の記述方法を説明する。

回	授業計画及び学習の内容
1	コンソールアプリの作り方 実習環境、C#プログラムの基本構成、データ型、標準入出力
2	制御文と出力書式 制御文、演算子、実数、出力書式
3	配列の扱い 多次元配列、配列の配列 (Jagged Array、ジャグ配列)
4	列挙型、構造体 定数、文字列化、属性 新しいデータ型の作成
5	クラスの作り方、コンストラクタ、デストラクタ、オーバーロード、構造体との違い
6	継承、基底クラス、派生クラス、カプセル化 (情報隠蔽)
7	プロパティ、静的変数とメソッド、多態性 (ポリモーフィズム)
8	抽象化 仮想メソッド、オーバーライド
9	例外、ファイルの扱い 例外処理の書き方、テキストファイルの扱い、Main引数
10	コレクションとジェネリクス
11	スレッド プロセス (動作しているプログラム) 中の最小実行単位、
12	デリゲートとスレッド イベント発生時などに適切なメソッドに処理を依頼する方法。
13	windowアプリの作り方の紹介
14	windowアプリの作り方の紹介
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	85%			15%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

8年間、SEとして実務経験あり。主に言語関係 (C、java、C++、C#、php、など)、linux、データベースなどを担当する。

【教科書・参考文献】

特になし。必要な資料は印刷やpdf形式で配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	UML II	坂本 知美	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ソフトウェア開発に照らし合わせてUMLの書き方を学んでいく。
UML I の続きとして、実際にツールを使用してUMLモデリングを行う。

【講義概要】

教科書を参照しながら、課題となるモデルを作成する。適宜、UML I の内容の復習も行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	ユースケース図（演習）
2	オブジェクト図・クラス図の復習
3	オブジェクト図のモデリング（演習）
4	クラス図のモデリング（演習）
5	クラス図とプログラムとの対応（演習）
6	シーケンス図の復習
7	シーケンス図のモデリング（演習）
8	中間試験
9	シーケンス図とプログラムとの対応（演習）
10	コミュニケーション図のモデリング（演習）
11	ステートマシン図、アクティビティ図の復習
12	ステートマシン図のモデリング（演習）
13	アクティビティ図のモデリング（演習）
14	総合演習 プログラムを作成しながらUMLモデリングする
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			10%	40%	100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

かんたんUML入門（技術評論社）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNA基礎 I	砂賀 勝己	無	1.5 単位 30 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・ネットワークの基礎についての復習を行う。
- ・Cisco機器を設定するためのコマンド、動作などについて学習する。
- ・CCNA資格試験の対策内容を一部取り入れる。

【講義概要】

- ・Cisco Packet Tracerを用いて演習を行う。
- ・CCNA取得者は受講/定期試験免除。

回 授業計画及び学習の内容

1	CCNA資格について、ケーブル、OSI参照モデル、TCP/IPモデル
2	IPアドレスの基礎1、デバイスの管理—パスワード、起動の仕組みなど
3	IPアドレスの基礎2、デバイスの管理—インターフェース設定など
4	TCP/IP1
5	TCP/IP2
6	スタティックルーティング
7	総合演習1
8	ルーティングプロトコル1
9	ルーティングプロトコル2
10	NAT
11	スイッチの基本動作
12	VLAN1
13	VLAN2
14	まとめ
15	相互演習2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	90%			10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNA基礎Ⅱ		砂賀 勝己	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・ネットワークの基礎についての復習を行う。
- ・Cisco機器を設定するためのコマンド、動作などについて学習する。
- ・CCNA資格試験の対策内容を一部取り入れる。

【講義概要】

- ・Cisco Packet Tracerを用いて演習を行う。
- ・CCNA取得者は受講/定期試験免除。

回	授業計画及び学習の内容
1	Iの復習
2	VLAN3
3	STP
4	VLAN間ルーティング1
5	VLAN間ルーティング2
6	総合演習1
7	OSPF、ループバックインターフェース1
8	OSPF、ループバックインターフェース2
9	スイッチのポートセキュリティ
10	CDP
11	アクセス制御リストとフィルタリング1
12	アクセス制御リストとフィルタリング2
13	アクセス制御リストとフィルタリング3
14	まとめと復習
15	総合演習2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	90%			10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	情報処理科3年制	2023年		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	LPIC/LinuC対策	平塚 悠生	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Linux Essentialsを取得する

【講義概要】

CentOSの基本的な操作を習得していることを前提として、Linux Essentials試験対策に特化した知識の整理を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	パス、ユーザ、コマンドの基本書式
2	シェル変数と環境変数
3	ファイルとディレクトリの操作
4	テキストファイルの操作
5	アーカイブの作成展開、圧縮と解凍
6	ここまでの復習
7	中間試験
8	テキストエディタvi、スクリプトの基本
9	各種ディレクトリの役割
10	ユーザとグループの作成削除編集
11	ファイルとディレクトリのパーミッション編集
12	特殊なパーミッション
13	Linuxのディストリビューションとライセンス
14	ここまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

JMAM Linux Essentials合格テキスト&問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	サーバ構築		砂賀 勝己	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会ではとても多くのWindowsマシンが使われており、それをセキュアな状態に保つ、管理を行うためのスキルはとても重要である。本講座ではそのための基礎知識となるWindowsクライアント/サーバのセキュリティ設定に関する手法を取得することを目的とする。

【講義概要】

Windowサーバ/クライアント環境におけるセキュアなシステム構築の手法について学習する

回	授業計画及び学習の内容
1	Windowsドメイン、ワークグループ、Active Directory
2	ユーザとグループ概要、ローカルとドメインでの違いなど
3	ドメインでのグループと組織単位の管理
4	NTFSアクセス権
5	共有アクセス権
6	共有フォルダの管理
7	グループポリシー1
8	グループポリシー2
9	グループポリシー3
10	EFS(暗号化ファイルシステム)、リモートでの管理
11	イベントログ、監査1
12	監査2
13	監査3
14	実技試験1
15	実技試験2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	Docker/コンテナ		高橋義博	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Dockerがそもそもどんな仕組みで動いているのか、コマンドでは何を命令しているのか、オプションや引数は何を意味しているのかをきちんと理解し、Dockerの基礎を学んでいく。

【講義概要】

Dockerをひとつおり動かして、止めて、廃棄するまでの流れを身に付けた上で、複数のコンテナ同士で通信をしたり、データをコンテナの外部に保存したりといった、現場で必要となるスキルを学んでいく。

回	授業計画及び学習の内容
1	クラウドについて
2	Dockerとは、Dockerのインストール、Dockerの操作
3	小テスト、小テストの解説
4	コンテナ作成→削除、コンテナと通信
5	イメージの削除、WordPressを利用して複数のコンテナを動かそう
6	WordPressコンテナの構成してみよう、WordPressを使ってみよう
7	コンテナとホスト間でファイルのコピー
8	ボリューム（フォルダ）のマウント
9	コンテナのイメージ化
10	コンテナの改造
11	Docker Hubへの登録
12	小テスト
13	Docker Composeについて
14	総合課題制作
15	総合課題制作

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%	40%		20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

15年以上、Webエンジニア・Webデザイナーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

【教科書・参考文献】

仕組みと使い方がわかる Docker & Kubernetesのきほんのきほん

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	システム設計演習	小泉 真理子	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

仕様書を読み、開発対象システムを理解できる。
また、業務アプリケーションの開発を通して、オブジェクト指向での開発を体験する。

【講義概要】

IT企業における業務を体験するため、チーム制作とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	開発技法(パッケージ、リスト)
2	開発技法(SQL文の復習、JavaからDBへのアクセス)
3	開発技法(プリペアードステートメント、DAO、DTO)
4	開発技法(単体テストの実施方法)
5	開発演習(概要理解/要件定義/方式設計)
6	開発演習(詳細設計/シーケンス図/クラス図)
7	開発演習(結合テスト仕様書)
8	開発演習(コーディング規約/単体テスト仕様書)
9	開発演習(コーディング/単体テスト)
10	開発演習(コーディング/単体テスト)
11	開発演習(結合テスト/修正)
12	開発演習(適格性確認テスト/修正)
13	発表準備、発表
14	まとめ
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(最終発表)	合計
割合	50%			30%	20%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。

【教科書・参考文献】

インフォテック・サーブ社 Javaシステム開発演習教材

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	データマイニング/AI基礎	吉田 雅裕	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報社会が抱える諸問題を多角的に分析・解明した上で、その問題の解決策を論理的に構築するために有用なデータマイニングの基礎技術の習得を目指す。実社会のビッグデータを対象に、データクレンジングの方法やAIの適用方法を学習し、データマイニングによって得られる結果を正しく理解するための論理的思考力を身に付ける。例として、身近な医療や保健のデータ、電子メールのデータ、スーパーマーケットの商品販売履歴などのデータを学習に利用する。日ごろ直感的に感じていることと、データマイニングでわかることを比較し、データマイニングに関するより深い理解を得る。RとPythonを使って、実際にデータマイニングを行うための具体的な方法論を習得することを目標とする。また、RやPythonを使って実際のビッグデータを分析できるようになる。データの内容に応じて、どのような人工知能を作成すればよいかを考えられるようになることを目標とする。

【講義概要】

膨大な非構造化データ、いわゆるビッグデータから、何らかの知見を導き出すデータマイニングについて学修する。連関規則、決定木、クラスタ分析、回帰分析、自己組織化マップ、ニューラルネットなどについて学び、ツールを用いることによっていわゆるAI（弱いAI）を活用することができる水準の技術を獲得する。機械学習についても、教師あり学習、教師なし学習、強化学習の特徴を把握し、自らが行う問題解決に際して、適切な方法を選択できる力量を養う。本講義では、データマイニングのためのソフトウェア『R』やプログラミング言語『Python』を用いる。演習を中心とした授業内容により、データマイニングの基礎技術を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	分析環境のセットアップと基本操作
3	データ事前処理
4	教師あり学習①（線形回帰）
5	教師あり学習②（ロジスティック回帰）
6	教師あり学習③（SVM）
7	教師あり学習④（決定木）
8	教師あり学習⑤（ナイーブベイズ）
9	教師あり学習⑥（ニューラルネットワーク）
10	教師なし学習①（K平均法）
11	教師なし学習②（主成分分析）
12	教師なし学習③（自己組織化マップ）
13	教師なし学習④（連関規則）
14	データマイニング演習・前半
15	データマイニング演習・後半

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			80%	20%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

企業研究所において、5G通信と自動運転車の研究開発に従事。現在は中央大学国際情報学部准教授。

【教科書・参考文献】

授業でテキストを使用せずに、レジュメ等の配布資料で代替する。

東京電子専門学校 情報処理科3年制

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Web詳論	榎本 博文	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報処理科3年制として、高度情報化社会に対応するITエンジニアの養成を念頭に講義を行う。溢れる情報の中から「本質」を見抜くためには、基本的なIT知識は勿論、幅広い知識が重要となる。

【講義概要】

環境・技術・ビジネスの変化をテーマに、文字、画像、音声、動画などの「コンテンツ制作」「Webサイト構築」（正しい情報発信）を通じITやマルチメディア全般に関わる幅広い内容を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	コミュニケーションツールとしてのインターネットの使い方。SDGsとGAFAMIについて
2	インターネットの歴史とWWWの仕組み。WebApiの実用方法について。
3	Illustrator Photoshopなどのグラフィック系ソフト演習 UI (User Interface) / UX (User Experience)
4	インターネットビジネス1 インターネットの市場価値と影響力。日本市場と世界市場の違い。
5	プロジェクトマネージメントの必要性。スタッフの役割と管理。リソース管理・スケジュール管理。
6	中間試験前のまとめ講義。試験直前対策。
7	中間試験
8	ワークフローと現状分析。webサイトの狙いとゴール設定。コンテンツの企画。公開と運用。
9	情報アーキテクチャ設計、効果検証と指標。
10	Webコンテンツを構成する素材、素材の集め方、サーチ力とは。
11	伝わるデザインとは？ウェブアクセシビリティの概要。ターゲット、ペルソナを考える。
12	Webマーケティングの全体像。インターネット広告の形式の違い。
13	SEO、LP0について、情報の共有、ネットビジネス、セキュリティ対策。
14	期末試験前のまとめ講義。試験直前対策。
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%		40%	20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

【教科書・参考文献】

ウェブの仕事力が上がる標準ガイドブック1 Webリテラシー 第3版 2030年の世界の地図帳 プリント配布など

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業制作 I		小泉 真理子 黒澤 純一	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

学生自身でテーマを決め、作品を完成させる。QCDを意識した制作を行う。

【講義概要】

テーマに基づき、設計、開発、テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	企画・設計
2	発表準備
3	制作物発表
4	設計・開発
5	設計・開発
6	設計・開発
7	中間発表1
8	中間発表2
9	開発・テスト
10	開発・テスト
11	開発・テスト
12	開発・テスト
13	発表準備・レポート作成
14	最終発表1
15	最終発表2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%		20%	40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

小泉 SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。
黒澤 映像関連企業にて映像の企画から制作まで従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業制作Ⅱ		小泉 真理子 黒澤 純一	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

学生自身でテーマを決め、作品を完成させる。QCDを意識した制作を行う。

【講義概要】

テーマに基づき、設計、開発、テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	企画・設計
2	発表準備
3	制作物発表
4	設計・開発
5	設計・開発
6	設計・開発
7	中間発表1
8	中間発表2
9	開発・テスト
10	開発・テスト
11	開発・テスト
12	開発・テスト
13	発表準備・レポート作成
14	最終発表1
15	最終発表2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%		20%	40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

小泉 SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。
黒澤 映像関連企業にて映像の企画から制作まで従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制		2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業制作Ⅲ		小泉 真理子 黒澤 純一	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

学生自身でテーマを決め、作品を完成させる。QCDを意識した制作を行う。

【講義概要】

テーマに基づき、設計、開発、テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	企画・設計
2	発表準備
3	制作物発表
4	設計・開発
5	設計・開発
6	設計・開発
7	中間発表1
8	中間発表2
9	開発・テスト
10	開発・テスト
11	開発・テスト
12	開発・テスト
13	発表準備・レポート作成
14	最終発表1
15	最終発表2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%		20%	40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

小泉 SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。
黒澤 映像関連企業にて映像の企画から制作まで従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ITソリューション	小泉 真理子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

SEとして働くために必要な業務知識の基礎と、問題を解決するためにITで何ができるか考える力を身につける。

【講義概要】

「ITを活用した問題解決」をテーマとする。SEとして働くために必要な、業務知識の基礎を理解する。

回	授業計画及び学習の内容
1	ソリューションとは？ 会社について
2	人事管理
3	グループワーク（人事管理）
4	グループワーク（人事管理）
5	発表
6	マーケティング
7	中間試験
8	営業／顧客管理
9	生産管理
10	グループワーク（生産管理）
11	グループワーク（生産管理）
12	発表
13	物流・在庫管理
14	会計
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%		30%	20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。

【教科書・参考文献】

図解でよくわかる SEのための業務知識、ITエンジニアのための【業務知識】がわかる本 第4版

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ	酒井 智子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

【講義概要】

身近で興味を促す題材に基づいた実践的な会話文の読解を行い、楽しみながら語彙を増やし文法事項の定着をはかる。小テストや課題を通して、積極的な取り組みにより成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらう。

回	授業計画及び学習の内容				
1	Unit 6	浅草へ行こう！	[文法： 等位接続詞]	(1)	
2	Unit 6	浅草へ行こう！	[文法： 等位接続詞]	(2)	
3	Unit 7	秋葉原を散策	[文法： 従属接続詞]	(1)	
4	Unit 7	秋葉原を散策	[文法： 従属接続詞]	(2)	
5	Unit 8	平和への祈り	[過去完了形]	(1)	
6	Unit 8	平和への祈り	[過去完了形]	(2)	
7	中間試験				
8	Unit 9	京都旅行：新幹線の旅	[文法： 話法①]	(1)	
9	Unit 9	京都旅行：新幹線の旅	[文法： 話法①]	(2)	
10	Unit 10	茶道初体験	[文法： 話法②]	(1)	
11	Unit 10	茶道初体験	[文法： 話法②]	(2)	
12	Unit 11	京都の思い出	[関係代名詞①]	(1)	
13	Unit 11	京都の思い出	[関係代名詞①]	(2)	
14	Unit 12	日本滞在最後の日：築地市場～上の公園	[関係代名詞②]	読解	
15	期末試験				

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	90%	3%	5%	2%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

公立高校教師、外資系化学メーカー勤務を経て2002年より本校非常勤講師（臨床工学科・臨床検査科・情報学部）。医療系大学の薬学部にて講師経験あり。 取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級(日本医療通訳協会)

【教科書・参考文献】

初級英語で紹介するニッポン - 続・イングリッシュ・ワンス・モア! -

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	表現技法	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

前半では日本語についての再確認をする。些細なことでもかまわないので、自分たちの言葉についての意識を持って欲しい。後半は、社会人として仕事していく上での基本、ビジネス文書について学ぶ。

【講義概要】

普段使っている日本語を見直す。また、ビジネスの現場での文書の意義、働き、流れ等を確認する。社会人としての基本を身につける。毎回、日本語の語彙に関する確認の小テストを行う。その他、適宜、講義内容に関連する新たな話題を紹介することもある。大きくシラバスから逸脱することはないが、内容が少し変わることもある。

回	授業計画及び学習の内容
1	表現とは何か
2	表現本能 表現行為 言語について
3	日本語について1 他言語との比較 日本語の特徴 語彙の面から①
4	日本語の特徴 語彙の面から② 表記の面から など
5	日本語の文体 音声言語と文字言語の相違
6	文章の構成 横書き原稿用紙の使い方
7	読点の付け方 中間試験対策
8	中間試験
9	ビジネス文書 概説 問題演習
10	ビジネス文書 社内文書① 問題演習
11	ビジネス文書 社内文書② 問題演習
12	ビジネス文書 社外文書① 問題演習
13	ビジネス文書 社外文書② 問題演習
14	ビジネス文書 まとめ 確認演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2023年		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容			
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7
8	中間試験			
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13
15	期末試験			

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	情報処理科3年制	2023年		3年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅲ	情報処理科3年制 担当教員	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。
学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	学園祭準備（1日目、2日目）
3	
4	
5	学園祭（1日目）
6	
7	
8	学園祭（2日目）、後片づけ
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】